

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-40 老人保健事業 □支援部門		
主管課	市民健康課	関連課	高齢者いきいき課・障害者福祉課
分野名	健康福祉		
目標 (目標値)	高齢者がいきいきと生活できるよう健康増進を図る。		

人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	
世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯		
事業の対象者数					
運営資源状況	決算値(千円)	103,929	101,795	69,412	
	(国・県)	893	813	1,034	
	(負担金等)	88,731	86,274	50,033	
	(一般財源)	14,305	14,708	18,345	
	人員配置数	3.6人	5.1人	5.1人	
	人件費(千円)	27,832	40,816	43,930	
	協働のパートナー	医師会・地区組織等	無	無	
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	131,761	142,611	113,342	
	市民1人当りの経費(円)	741	805	640	
	対象者1人当りの経費(円)				

ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒																		

指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
機能訓練教室参加の指導延人数	△	目標値	定数の100%	定数の100%	定数の100%	定数の100%	定数100%
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	616人	553人	692人	465人	

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面) (千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
老人保健事業	103,929	高齢者保健事業	104,853	今後の方向性	B	理由・手法	健康づくり事業の内容の検討、定員に対する参加率、参加者の反応等を踏まえ、高齢者保健事業を展開していく。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	[機能訓練教室]介護保険法の施行から10年以上が経過し、介護保険サービスの給付の中で機能訓練を受ける方が増えた。またリハビリに特化した施設、医療機関も充実してきて、脳血管疾患クラスについては行政の役割は果たしたと考える。その他、教室全体の体制、対象者、担当者などの見直しが必要。										
課題解決のための取組	[機能訓練教室]脳血管疾患クラスを廃止した場合の市以外の体制の確認。参加者一人ずつの支援体制の確認。行政が行うべき教室の在り方について、関係者で検討をし、26年度の実施体制を組んだ。					取組の結果	■解決 □未解決				
未解決の課題	[機能訓練教室]周知をさらに広めて、対象者を募る必要がある。また、教室参加者の機能維持・回復等の評価を行い、教室のプログラムの検討を行う。										
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	成人～高齢期の健康づくり事業の体系、内容の検討が必要。専門職(非常勤嘱託員)の有効活用。					A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ➡ B		※□事業完了			

評価者名 市民健康課長 磯崎 勇次

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
老人保健事業	・成人期～高齢期の健康づくり事業の充実を図った。 ・75歳以上の後期高齢者健診を実施した。				○	○	○	○	
	主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		1285	非常勤嘱託保健師報酬	5,664	5,228	○	○	○	○
		1285	機能訓練嘱託員報酬	2,897	2,774	△	△	△	△
		1285	健康講座講師等謝礼	125	117	○	○	○	○
		1285	嘱託員費用弁償	42	15	○	○	○	○
		1285	消耗品費	85	40	○	○	○	○
		1285	印刷製本費	164	149	○	○	○	○
		1285	医薬材料費	40	35	○	○	○	○
		1285	機能訓練教室送迎車運行委託料	2,500	2,471	△	△	△	△
※□	1285	訪問歯科検診委託料	50	0	△	△	△	△	
事業完了	1285	後期高齢者健診委託料	95,262	93,090	○	○	○	○	
1285	ブルー使用料	10	10	○	○	○	○		
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※□								
事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※□								
事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※□								
事業完了									